

秋号 みどり通信

発行 21世紀記念公園 麓山の杜管理事務所
 連絡先 〒963-8876 郡山市麓山 1-16-17
 TEL 924-2194 FAX 924-2195

【みどりの教室】

日時：令和5年1月22日(日)
 10:00~12:00、14:00~16:00
 場所：とんがりふれあい館ホール
 定員：各15名(抽選)
 内容：季節の寄せ植え
 申込期間：令和5年1月6日(金)9:00から
 令和5年1月12日(木)17:00まで
 申込方法：電話で受付。
 定員を超えた場合は抽選になります。

***当日検温とマスクの着用をお願いいたします。**

【みどり講習会】*受講料無料、予約不要

場所：とんがりふれあい館ホール
 対象：記念樹交付申請者及び希望者
 ①日時：令和4年10月23日(日)10:00~12:00
 内容：落葉樹の剪定
 ②日時：令和4年11月27日(日)10:00~12:00
 内容：土壌改良、肥料
 ③日時：令和5年3月19日(日)10:00~12:00
 内容：庭づくりのポイント

*樹木医による園芸に関する講座です。

稲も黄金色に染まり始め収穫の時期となりました。紅葉のニュースも流れ始め私たちの身近な緑も少しずつですがその表情を変えてきました。平年ならば11月に入ると霜が降りはじめ多くの植物が長い冬の眠りにつきます。私たちにとって暖冬は過ごしやすいわけですが地球環境を考える時には冬は冬らしい気候になることが自然であり、そのような環境の下で植物は育ってきました。冬があることによって植物は休眠に入りそして春に目覚めます。持続可能な社会は身近な植物の営みを感じ取ることによって理解することができるような気がします。



My ガーデニング

・・・季節のワンポイントアドバイス

【水やり】

これからの時季は蒸散は抑えられて乾燥はしにくくなります。だからといっても水やりが必要ないというわけではありません。ただ水やりの回数が減るだけです。降水量が少ないときや植え替えた場合は水やりは必要です。時間帯は夕方から夜を除けばいつでも大丈夫です。

【植替え】

常緑広葉樹は寒さに向かっていくので植替えには向かなくなってきました。寒さが来る前に新しい根が伸びずに冬を迎えてしまうためです。できれば来春まで待ったほうが無難です。ただどうしても時には根元をワラなどで覆い幹の部分はベタ掛けシートなどを被せ

寒さから守ってあげます。常緑針葉樹は霜が何度か降りてからならば可能になります。ただし適期は早春です。落葉広葉樹は紅葉時から来春の芽が動き出す前までが適期になります。太い樹木でも枯れるリスクは低くなります。ポタンやシャクヤクは秋が適期ですので早めに行います。カエデの仲間も年内の早い時季が無難です。しかし切り口などから樹液がにじみ出て樹木の勢いが落ちキクイムシが入り弱ってしまうことが多くあります。植物を来春に植えようと思っている場所は冬の間掘り起こして寒さにあて風化させ土を軟らかくしておくといいですね。(天地返しといいます) 植物は土づくりが一番大切になります。粘土のきつい所では特に効果が高いです。

【肥料】

これからの施肥は植物がいつまでも吸い続け軟らかく育ってしまい寒い冬には幹割れなどの寒害の被害を受けやすくなります。冬にあげる寒肥まで待ったほうがいいです。芝生は 10 月末までに芝生用の化成肥料を 1 m²あたり 60 グラムほど撒きます。

【病害虫】

病気は予防、害虫は早期の退治が基本です。落ち葉は病害虫の越冬場所となりやすいので掃き集めて処分します。バラを育てるうえで気を付けなければならない病気に**黒星病**があります。罹病したその葉を放置したままにしておくと次から次と毎年発生が拡大していきます。これからの季節には落ち葉を発酵させて腐葉土を作る事ができます。しかし病気におかされた葉を使用すると病原菌を拡散させてしまうことがあるので行わないほうが無難です。黒星病に限らず罹病した枝や葉は**焼却処分**することが予防になります。病気に対する薬剤は殆どが予防薬です。初期の治療薬もありますが効果は限定的です。また害虫に対しての薬剤は予防効果というよりは直接対処の効果が高いです。ですから初期の段階で対処します。この時季は越冬する卵塊や幼虫は見つけ次第取り除きます。冬季に使用できる**マシン油乳剤**という殺虫剤は退治しにくいカイガラムシやアブラムシに効果があります。ただし薬害で常緑広葉樹では春先に落葉することもあります。国内で初めて確認された**ツヤナシクワカミキリ**は急に発生したわけではなくかなり以前からその被害はイヌエンジュで確認されていました。成虫は 9 月中旬過ぎまで活動しています。そしてその個体数は一般的なカミキリムシでは考えられないような数です。こちらからもまだその被害は続くと思われます。また郡山市の東部地区でもナラ枯れがみられました。**カシノナガキクイムシ**による被害と思われます。この夏に大きなコナラの葉が赤茶色に変色していました。私達の身近なところにもそのような病害虫が忍び寄ってきています。拡大する前に早めの対処が求められます。



ツヤナシクワカミキリの交尾。メスは夜になると根元のほうに降りてきて産卵をします。

【剪定】

常緑広葉樹は寒さに向かっていくために好ましくありません。コニファーなどの針葉樹も来春まで待ったほうが無難です。マツ類は来年の芽を残して混みすぎた枝や古葉を整理します。落葉広葉樹はこれからが適期になります。太い枝などを切ることも可能ですが切りすぎては樹勢を弱め樹形も損なわれます。カエデ類は年内に済ませたほうが無難です。

【この時期のハナカツミ】

秋遅くなるとハナカツミ（ヒメシャガ）は葉が茶色く枯れてきます。根元から切りたいところですが、そのままにして来春に芽が動き出す前近くに切るようにします。そうすることによって寒さから芽を守ることができます。年数が経過すると根が浮いたようになってしまいます。増し土をおこなって根がぐらつかないようにします。鉢植えは寒風にさらされないところで冬越しさせます。冬でも水やりは必要です。